

【ワーキングについて】

ワーキングは、広報・交流・防災減災・施設改善・大掃除が決まっています。(新ワーキング立ち上げには運営委員会での確認が必要です。)

各運営委員は希望のワーキングに参加もしくは立ち上げ、目標に向かい発案、企画、発信しこむ1会利用者の参加につなげる活動をします。

※活動に向けてワーキングから実行委員会・実行チーム等ネーミングを自由に変更します。つまり実行に向けて動き出す時にはワーキングとは異なるネーミングになります。(企画を実行に移すこの時も運営委員会を確認する事がが必要です。)

現在、進行途中{2020年度末で進行の途中にあり、現運営委員の承認待ち(2021年度8月28日総会では新運営委員会が実施されていなかったのもので総会にて事業計画[新運営委員会が計画する事業案]として未承認)のワーキングが有る一方、これから新運営委員として新しい内容に取り組むワーキングも有ります。また施設改善ワーキングは2020年度も手付かずの状態です。早急に実施すべきものとなっています。

例えば

交流ワーキングでは、①コロナ禍で何が出来るかを考え、アンケートを実施しました。又そのアンケートを元にアンケート&座談会を企画し、実施する為に運営委員会に提案承認を受け実行チームを結成しました。(ここで年度が変わり今新運営委員会の承認待ちです)

②こむフェスに変わるコロナ禍における新しい形のミニフェスを考える為、交流ワーキング第2弾を立ち上げていました(これも年度が変わり新運営委員会の確認待ちです)

【なぜ、年度を跨ぐ事が出来なくなっているか？】

運営委員会が年度毎に必要な事業を決めていく体制を昨年度から推し進めているからです。その年の運営委員が自分たちが今年度何を必要とするか何をやっていくか選び決め実行する為です。

補足:年間スケジュールワーキング発足がここで必要になります。

総会に向けて新運営委員が決定、新運営委員会を開催し、総会への事業案を出す時に進行中のものをするかしないか決めていれば途中中断する事なく活動を継続できるもしくは新しい事業に向けて直ぐ活動する事が可能になります。